

調査者(団体)名: 国分寺にふるさとを作る会 食育教室/NACOT 担当者: 小久保・

連絡先: (住所・TEL)
(メールアドレス)

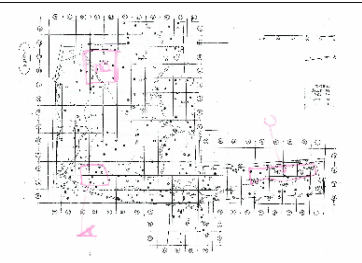
調査日: 2009年7月28日・8月10日・9月8日

主な調査時間: AM・PM 15:00 ~ AM・PM 17:00

1回の調査参加人数: 7/28 ふるさとを作る会4名、NACOT1名(小久保)
8/10 千原10名、後園寺・ふるさとを作る会15名、NACOT3名(小久保、田田、高野)

調査実施場所: (住所:)

調査場所の環境: 周辺の環境 平地・街 里・丘陵 山 海岸 河川 その他 ()
調査場所の様子 都市公園 自然公園・緑存緑地 社寺 個人宅庭 街路 その他 ()
調査場所の地面 土が露出 下草・落ち葉がまばら 一面下草・落ち葉 その他 ()
調査結果:



調査サイト	A				B				C				合計				
	採取日	7/26	8/16	9/6	計	7/26	8/16	9/6	計	7/26	8/16	9/6	計	7/26	8/16	9/6	計
ニニイゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ ♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	1	1	2	2
ミンミンゼミ ♀	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	2	3	0	2	2	2	4
アブラゼミ ♂	0	15	0	15	8	29	5	40	1	103	3	107	7	147	8	162	180
アブラゼミ ♀	0	32	0	32	1	26	8	35	0	53	10	63	1	111	18	130	160
ツクツクボウシ♂	0	2	0	2	0	6	0	6	0	26	28	54	0	34	28	62	82
ツクツクボウシ♀	0	0	1	1	0	2	0	2	0	22	23	45	0	24	24	48	68
ヒグラシ	0	5	0	5	3	4	0	7	1	33	1	35	4	42	1	47	67
ヒグラシ ♀	0	7	0	7	3	4	0	7	1	40	2	43	4	51	2	57	77
クマゼミ ♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ ♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	62	1	63	13	71	13	97	3	276	70	352	16	412	64	512	628

[illegible]

年度	2010
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
主担当者	小久保
再検者	

年度	2010
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	B
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
主担当者	小久保
再検者	

種	♂♀	7/25	8/15	9/4	計	%
ニイニイゼミ	計	0	0	0	0	0.0%
ミンミンゼミ	♂	0	9	3	12	3.6%
ミンミンゼミ	♀	0	4	1	5	1.5%
ミンミンゼミ	計	0	13	4	17	5.1%
アブラゼミ	♂	1	75	11	87	26.3%
アブラゼミ	♀	0	63	21	84	25.4%
アブラゼミ	計	1	138	32	171	51.7%
ツクツクボウシ	♂	4	7	48	59	17.8%
ツクツクボウシ	♀	2	0	36	38	11.5%
ツクツクボウシ	計	6	7	84	97	29.3%
ヒグラシ	♂	0	16	5	21	6.3%
ヒグラシ	♀	0	19	6	25	7.6%
ヒグラシ	計	0	35	11	46	13.9%
クマゼミ	計	0	0	0	0	0.0%
	総計	7	193	131	331	100.0%

種	♂♀	7/25	8/15	9/4	計	%
ニイニイゼミ	計	0	0	0	0	0.0%
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0	0.0%
アブラゼミ	♂	2	5	1	8	16.7%
アブラゼミ	♀	1	19	3	23	47.9%
アブラゼミ	計	3	24	4	31	64.6%
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0	0.0%
ツクツクボウシ	♀	0	1	0	1	2.1%
ツクツクボウシ	計	0	1	0	1	2.1%
ヒグラシ	♂	3	8	0	11	22.9%
ヒグラシ	♀	0	3	2	5	10.4%
ヒグラシ	計	3	11	2	16	33.3%
クマゼミ	計	0	0	0	0	0.0%
	総計	6	36	6	48	100.0%

セミの抜け殻調査報告書2011

調査者(団体)名: 特定非営利活動法人 国分寺市にふるさとをつくる会 冒険塾/NACS-J自然観察指導員東京連絡会(NACOT)

担当:NACOT 小久保雅之

連絡先: (住所・TEL) 東京都日野市川辺堀の内165-3
(メールアドレス) CXW02162@nifty.com

調査日: 2011年7月24日・8月21日・9月4日

主な調査時間: 14:00 ~ 17:00

調査参加人数: 7/24 特定非営利活動法人 国分寺市にふるさとをつくる会 冒険塾2名、NACOT2名
8/21 子供7名、保護者・特定非営利活動法人 国分寺市にふるさとをつくる会 冒険塾13名、NACOT3名
9/4 特定非営利活動法人 国分寺市にふるさとをつくる会 冒険塾2名、NACOT2名

調査実施場所: 国分寺市西恋ヶ窪緑地(通称X山)

調査場所の環境:

周辺の環境 平地・街
調査場所の様子 保存緑地
調査場所の地面 サイトA:一面に下草・落ち葉 サイトB:下草・落ち葉がまばら

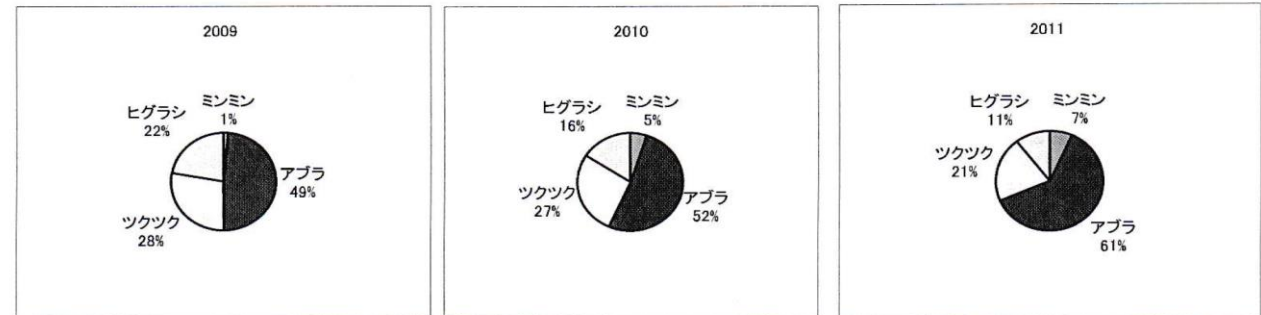
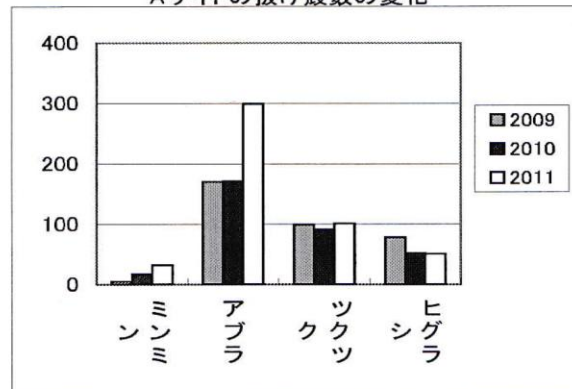
調査結果:

調査サイト	A(2011)				B(2011)				合計				Aサイト3年間の比較		
採取日	7/24	8/21	9/4	計	7/24	8/21	9/4	計	7/24	8/21	9/4	計	2009	2010	2011
ニイニゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ ♂	0	17	3	20	0	0	0	0	0	17	3	20	2	12	20
ミンミンゼミ ♀	0	11	1	12	0	0	0	0	0	11	1	12	3	5	12
アブラゼミ ♂	2	131	12	145	2	34	11	47	4	165	23	192	107	87	145
アブラゼミ ♀	0	130	24	154	1	35	12	48	1	165	36	202	63	84	154
ツクツクボウシ ♂	0	46	20	66	0	4	3	7	0	50	23	73	54	55	66
ツクツクボウシ ♀	0	4	31	35	0	0	3	3	0	4	34	38	45	36	35
ヒグラシ ♂	7	12	6	25	7	7	7	21	14	19	13	46	35	25	25
ヒグラシ ♀	2	15	9	26	2	11	5	18	4	26	14	44	43	27	26
クマゼミ ♂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クマゼミ ♀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	11	366	106	483	12	91	41	144	23	457	147	627	352	331	483

Aサイトの抜け殻数の変化

	2009	2010	2011
ニイニイ	0	0	0
ミンミン	5	17	32
アブラ	170	171	299
ツクツク	99	91	101
ヒグラシ	78	52	51
計	352	331	483

Aサイトの抜け殻数の変化



考察

本調査地の特徴はヒグラシの比率が多く、ニイニゼミが殆どいないこと。東京近郊の住宅街の一角に残されたさほど広くない雑木林であるが、これだけヒグラシが多いところは珍しいし、ニイニゼミが全くといっていいほど少ないのは(抜け殻数0)東京近郊で、これだけの保護緑地では珍しいと思われる。2008年から調査してるが、傾向は変わらない。

サイトの設定はサイトAをこの緑地の特徴が表れる主な調査サイトとして設定し、今後も継続的に調査する。サイトBは参加者に環境の違いによって、抜け殻の数(面積あたりの密度)や種構成が異なることを気付かせる為の比較対照の意味も含めて設定している。

サイトAはクヌギ、コナラ、ヤマサクラ、エゴノキなどが多く、笹などの下草も多い。Bサイトに比べツクツクボウシの比率が高いことが一つの特徴である。特にイヌザクラの大樹があり、その周辺でツクツクボウシが多く採集されているようである。来年はこのイヌザクラの周辺を別集計することにより、データとして確認してみたいと考えている。
サイトBは樹種はサイトAと差はないが、ベンチやテーブルがあり、人がいつでも入れるため地面は踏み固められていて落葉下草はほとんどない。ヒグラシの比率はAサイトとより高く、一方でツクツクボウシの比率は少なく、ミンミンゼミの抜け殻は今年も昨年と同様一つも採取できなかった。

Aサイトの昨年(2010年)との比較では、抜け殻総数が約1.5倍、と大幅に増えていた。種毎に見るとミンミン、アブラ、ツクツクが増加、ヒグラシは昨年とほぼ同数であった。中でもアブラゼミの増加が著しかった。そのため構成比で見ると、ヒグラシの比率が低下しているが、抜け殻の数が減っていないことから、2009年から2010年でのヒグラシの減少は、かならずしも継続しているとは言えない。また、ミンミンゼミの数が毎年増加傾向であり、今後さらに増加していくかが注目される。
アブラゼミが顕著に増えた理由については不明であるが、小久保が調査している日比谷公園でも同様の傾向が見られており、この調査地に特異的な変化ではないかもしれない。

今後とも、本調査地に特有のヒグラシやツクツクボウシの数の変化、またアブラゼミやミンミンゼミの増加が来年以降どのように推移するか、継続的にデータを取っていくことが重要と考えられる。

以上

■部分を入力 ■ニイニゼミの♀雄別は不要(任意で入力できます)

列や行は削除はしないでください。

年度	2012
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
主催者	小久保
直接者	

種	♀	♂	7/29	8/19	9/9	計
ニイニゼミ	不明	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	22	7	29	29
ミンミンゼミ	♀	1	15	8	24	24
ミンミンゼミ	計	1	37	15	53	53
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♀	9	105	20	134	134
アブラゼミ	♀	0	82	8	90	90
アブラゼミ	計	9	187	28	224	224
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	40	16	56	56
ツクツクボウシ	♀	0	9	15	24	24
ツクツクボウシ	計	0	49	31	80	80
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	12	36	5	53	53
ヒグラシ	♀	9	34	5	48	48
ヒグラシ	計	21	70	10	101	101
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0
合計			31	343	84	458

	2012	2011	2010	2009
ニイニゼミ計	0	0	0	0
ミンミンゼミ計	53	32	17	5
アブラゼミ計	224	299	171	170
ツクツクボウシ計	80	101	97	99
ヒグラシ計	101	51	46	78
クマゼミ計	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0
総計	458	483	331	352

総計に自由入力は含まれていません

自由入力に入力した場合には

グラフのデータ範囲を修正してください。

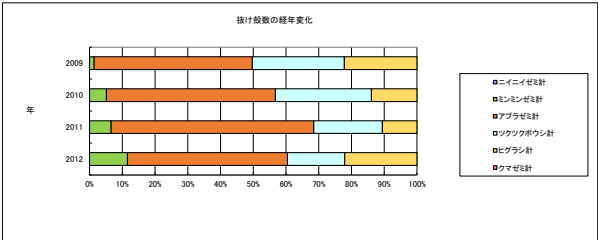
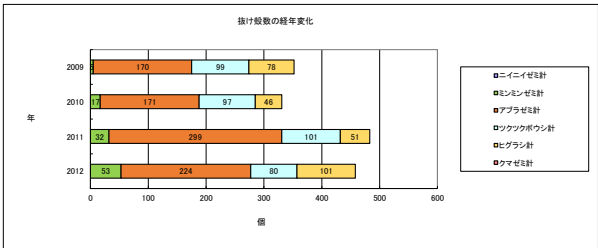
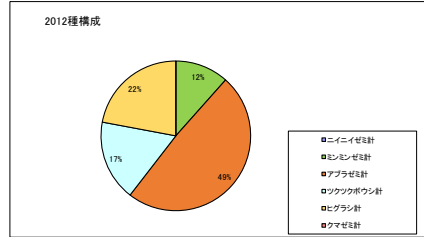
セミの抜け殻調査報告書2012

■ブルダウンから選択

■部分は自動入力(計算)されますので入力しないでください。

主催者連絡先	
住所	
電話番号	
E-mail	

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	
調査地の主な樹木	
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 中学生 小学生 幼児



■部分を入力 ■ニイニゼミの♀雄別は不要(任意で入力できます)

列や行は削除はしないでください。

年度	2012
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	B
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
主催者	小久保
直接者	

種	♀	♂	7/29	8/19	9/9	計
ニイニゼミ	不明	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0	0
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♀	2	23	4	29	29
アブラゼミ	♀	0	19	1	20	20
アブラゼミ	計	2	42	5	49	49
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	4	1	5	5
ツクツクボウシ	♀	0	0	2	2	2
ツクツクボウシ	計	0	4	3	7	7
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	4	20	1	25	25
ヒグラシ	♀	2	14	7	23	23
ヒグラシ	計	6	34	8	48	48
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0
合計			8	80	16	104

	2012	2011	2010	2009
ニイニゼミ計	0	0	0	0
ミンミンゼミ計	0	0	0	0
アブラゼミ計	49	95	31	75
ツクツクボウシ計	7	10	1	8
ヒグラシ計	48	39	16	14
クマゼミ計	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0
総計	104	144	48	97

総計に自由入力は含まれていません

自由入力に入力した場合には

グラフのデータ範囲を修正してください。

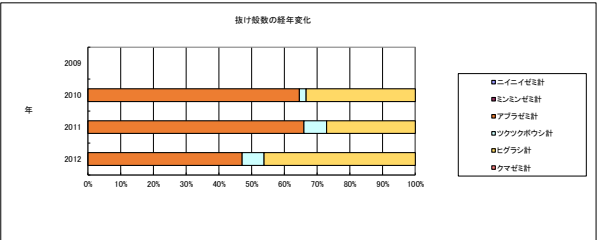
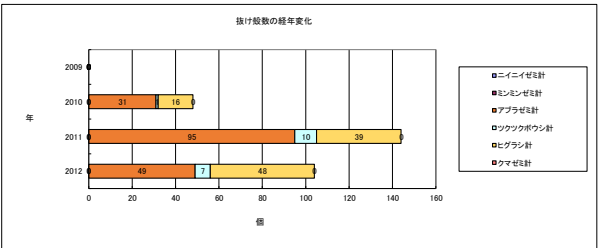
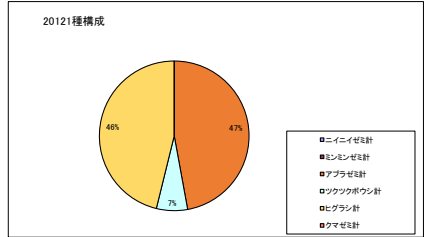
セミの抜け殻調査報告書2012

■ブルダウンから選択

■部分は自動入力(計算)されますので入力しないでください。

主催者連絡先	
住所	
電話番号	
E-mail	

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	
調査地の主な樹木	
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 中学生 小学生 幼児



セミの抜け殻調査報告書2013

年度	2013
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
主担当者	小久保雅之
再検者	

種	♂♀	8/3	8/18	9/7	計
ニイニゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	1	1
ミンミンゼミ	♂	11	42	0	53
ミンミンゼミ	♀	2	20	0	22
ミンミンゼミ	計	13	62	1	76
アブラゼミ	不明	0	0	10	10
アブラゼミ	♂	124	149	46	319
アブラゼミ	♀	22	181	64	267
アブラゼミ	計	146	330	120	596
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	13	7	20
ツクツクボウシ	♀	0	0	7	7
ツクツクボウシ	計	0	13	14	27
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	22	24	8	54
ヒグラシ	♀	6	18	2	26
ヒグラシ	計	28	42	10	80
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
合計		187	447	145	779

	2013	2012	2011	2010	2009
ニイニゼミ計	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ計	76	53	32	17	5
アブラゼミ計	596	224	299	171	170
ツクツクボウシ計	27	80	101	97	99
ヒグラシ計	80	101	51	46	78
クマゼミ計	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0
総計	779	458	483	331	352

コメント：				
本調査地の特徴はヒグラシの比率が多く、ニイニゼミが殆どいないこと。東京近郊の住宅街の一角に残されたさほど広くない雑木林であるが、これだけヒグラシが多いところは珍しいし、ニイニゼミが全くといっていいほどいないことは（抜け殻数 0）東京近郊で、これだけの保護緑地では珍しいと思われる。2008年から調査してるが、傾向は今年も同じで、ニイニゼミの声は聞こえていたが、ぬけがらは一つも確認できなかった。				
サイトの設定はサイトAをこの緑地の特徴が表れる主な調査サイトとして設定し、今後も継続的に調査する。サイトBは参加者に環境の違いによって、抜け殻の数(面積あたりの密度)や種類構成が異なることを気付かせる為の比較対照の意味も含めて設定している。 サイトAはクヌギ、コナラ、ヤマサクラ、エゴノキなどが多く、笹などの下草も多く人が入ることはほとんどない。一方、サイトBは樹種はサイトAと差はないが、ベンチやテーブルがあり、人がいつでも入れるため地面は踏み固められていて落葉下草はほとんどない。				
A、B両サイトの抜け殻総数はそれぞれ768、211で3.6倍の差があった。両サイトの面積は測定していないので、正確な抜け殻の密度の比較はできないが、AサイトがBサイトの2倍の面積と仮定しても、Aサイトが単位面積あたりのセミの羽化数が多いことが分かる。				
それぞれのサイトの種類構成を比較してみると、AサイトではBサイトにはいないミンミンゼミの抜け殻が75/768(9.8%)、ツクツクボウシがAサイトで27/768(3.5%)、Bサイトで5/211(2.3%)、ヒグラシがAサイトで80/768(10.6%)、Bサイトで37/211(17.5%)と比率ではBサイトが高かった。				
このように、AサイトはBサイトでは採取できていないミンミンゼミが全体の約10%を占めるのが一つの特徴である。2013年度は例年と比べ、明確な差はでなかったが、Aサイトでツクツクボウシが多いことも特徴として見られていて、特にウミズザクラの大樹の周辺でツクツクボウシが多く採集されている。もし、このウミズザクラの大樹が伐採されたり、枯れたりすることがあると、ツクツクボウシの生息に大きな影響が出る可能性が考えられる。 Bサイトのヒグラシの比率はAサイトとより高いが、これはヒグラシが下草や地面の伏草にはあまり影響を受けにくい可能性が考えられる。小平中央公園では、国分寺X山ほどヒグラシの密度は高く多くないものの、ヒグラシの抜け殻が毎年採取されており、特にヒノキの林で多く取れているが、その場所も下草が多い場所ではない。樹木が一定以上の密度で生えていて、暗い林であれば下草がなくても生息が可能なかもしれない。ツクツクボウシの抜け殻に比べヒグラシの抜け殻がしっかりしていることから、ツクツクボウシに比べより固い地面でも穴を掘ることが可能なのかもしれない。				

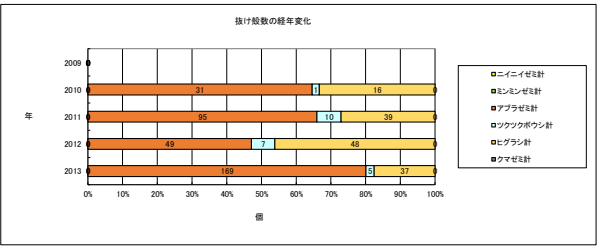
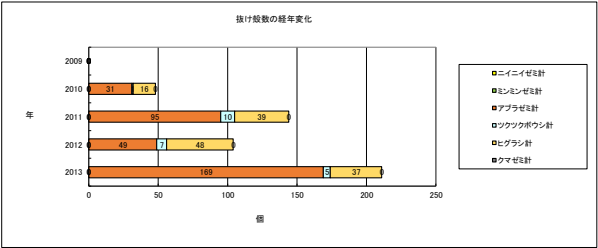
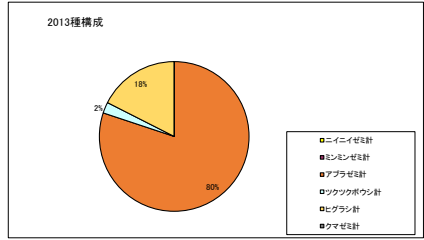
セミの抜け殻調査報告書2013

年度	2013
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	B
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	土が露出
主担当者	小久保雅之
再検者	

種	♂♀	8/3	8/18	9/7	計
ニイニゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	21	30	37	88
アブラゼミ	♀	1	31	49	81
アブラゼミ	計	22	61	86	169
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	1	1
ツクツクボウシ	♀	0	0	4	4
ツクツクボウシ	計	0	0	5	5
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	3	6	7	16
ヒグラシ	♀	8	9	4	21
ヒグラシ	計	11	15	11	37
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
合計		33	76	102	211

	2013	2012	2011	2010	2009
ニイニゼミ計	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ計	0	0	0	0	0
アブラゼミ計	169	49	95	31	75
ツクツクボウシ計	5	7	10	1	8
ヒグラシ計	37	48	39	16	14
クマゼミ計	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0
総計	211	104	144	48	97

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	
調査地の主な樹木	
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 中学生 小学生 幼児



列や行は削除はしないでください。

■部分を入力

■ニイニイゼミの♀♀鑑別は不要(任意で入力できます)

■ブルダウンから選択

■部分は自動入力(計算)されますので入力しないでください。

列や行は削除はしないでください。

年度	2015
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
担当者	小久保
再検者	

種	♂♀	8/2	8/16	9/5	計
ニイニイゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	18	31	0	49
ミンミンゼミ	♀	12	27	0	39
ミンミンゼミ	計	30	58	0	88
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	155	127	47	329
アブラゼミ	♀	105	150	57	322
アブラゼミ	計	260	287	104	651
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	6	11	0	17
ツクツクボウシ	♀	1	11	1	13
ツクツクボウシ	計	7	22	1	30
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	15	26	1	42
ヒグラシ	♀	15	21	4	40
ヒグラシ	計	30	47	5	82
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
合計		327	414	110	851

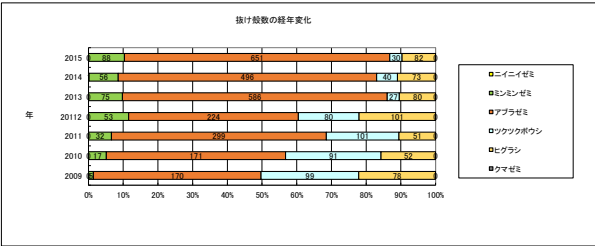
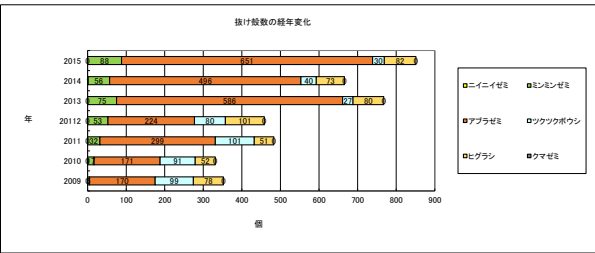
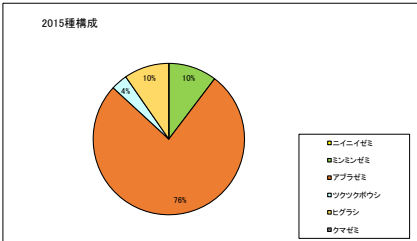
集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
ニイニイゼミ	0	0	0	0	0	1	0
ミンミンゼミ	5	17	32	53	75	56	88
アブラゼミ	170	171	299	224	586	496	651
ツクツクボウシ	99	91	101	80	27	40	30
ヒグラシ	78	52	51	101	80	73	82
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0
総計	352	331	483	458	768	666	851

コメント：(改行：ALT+ENTER)

ミンミンゼミ、アブラゼミが過去最高数を数えた。一方でツクツクボウシは2013年以降急激に減ってその後は安定している。2013年以降の減少はイヌザクラの巨木の伐採と関係していると思われる。2012年まではイヌザクラの周辺でツクツクボウシが大量に採取されていた。ヒグラシは6年間大きな変化はない。

種毎の構成比率で見ると、ミンミンゼミ、アブラゼミが増えた分2013年以降、ツクツクボウシはもちろんのこと、ヒグラシも構成比が低くなっている。

調査地参考情報	
声のみを聞いたゼミ	
調査地の主な樹木	
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 中学生 小学生 幼児



■部分を入力

■ニイニイゼミの♂♀鑑別は不要(任意で入力できます)

■ブルダウンから選択

■部分は自動入力(計算)されますので入力しないでください。

列や行は削除はしないでください。

年度	2015
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	B
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
担当者	小久保
再検者	

調査地参考情報	
声のみを聞いたゼミ	
調査地の主な樹木	
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 中学生 小学生 幼児

種	♂♀	8/2	8/16	9/5	計
ニイニイゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	2	1	3
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	2	1	3
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	71	59	63	193
アブラゼミ	♀	15	63	60	138
アブラゼミ	計	86	122	123	331
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	2	2	3	7
ツクツクボウシ	♀	0	0	1	1
ツクツクボウシ	計	2	2	4	8
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	12	9	0	21
ヒグラシ	♀	11	11	2	24
ヒグラシ	計	23	20	2	45
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
合計		111	146	130	387

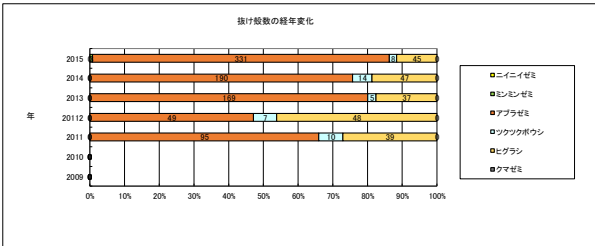
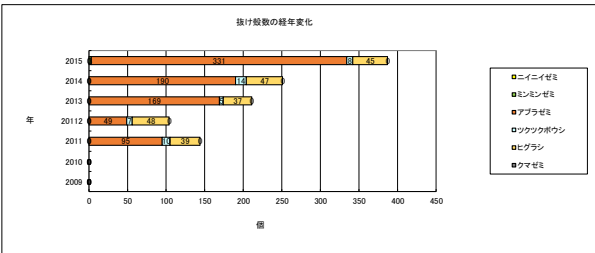
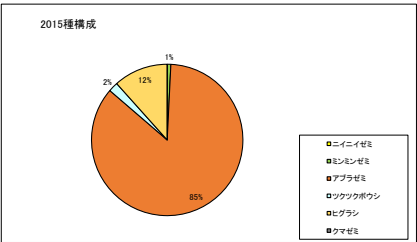
集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
ニイニイゼミ	0	0	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	0	3
アブラゼミ	75	31	95	49	169	190	331
ツクツクボウシ	8	1	10	7	5	14	8
ヒグラシ	14	16	39	48	37	47	45
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0
総計	97	48	144	104	211	251	387

コメント：(改行：ALT+ENTER)

アブラゼミが3年間で急増している。

ミンミンゼミは今まで採取が無かったが、初めて3個採取された。

ツクツクボウシ、ヒグラシは5年間大きな変化はない。



セミの抜け殻調査報告書2016

■部分を入力 ■ニイニゼミの♀性別は不要(任意で入力できます)

列や行は削除はしないでください。

年度	2016
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
担当者	小久保雅之
再接者	

■ブルダウンから選択

■部分は自動入力(計算)されますので入力しないでください。

調査地参考情報				
声のみを聞いたセミ				
調査地の主な樹木				
調査地関連HP				
調査参加者数	大人	中学生	小学生	幼児

種	♀	♂	7/24	8/21	9/3	計
ニイニゼミ	不明	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	22	20	42	84
ミンミンゼミ	♀	4	17	24	45	90
ミンミンゼミ	計	4	39	44	87	174
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♀	53	386	327	766	1532
アブラゼミ	♀	8	365	217	590	1180
アブラゼミ	計	61	751	544	1356	2712
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	11	1	12	24
ツクツクボウシ	♀	0	10	2	12	24
ツクツクボウシ	計	0	21	3	24	48
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	16	25	20	61	122
ヒグラシ	♀	11	20	17	48	96
ヒグラシ	計	27	45	37	109	219
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0
合計		92	856	628	1576	3166

集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
ニイニゼミ	0	0	0	0	0	1	0	0
ミンミンゼミ	5	17	32	53	75	56	88	87
アブラゼミ	170	171	289	224	586	496	651	1356
ツクツクボウシ	99	91	101	80	27	40	30	24
ヒグラシ	78	52	51	101	80	73	82	109
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	352	331	483	458	768	666	851	1576

コメント：(改行：ALT+ENTER)
1回目の調査が例年より約1週間早く、2回目の抜け殻数が多くなった。
8/21以降は新たに羽化するセミは限られているはずで、3回目の調査は数が少ないと予想していたが、3回目の調査では地面に落ちた抜け殻が非常に多く、台風等の影響で例年であれば、まだ高木の手の届かないところにあったはずのアブラゼミの抜け殻が落ちていた可能性も考えられた。
ミンミンゼミ、ヒグラシの数は例年並みであったが、アブラゼミが増えた分、比率は低下した。
ツクツクボウシは今までで最も少なく、特に3回目の調査での採取数が少ない。

セミの抜け殻調査報告書2016

■部分を入力 ■ニイニゼミの♀性別は不要(任意で入力できます)

列や行は削除はしないでください。

年度	2016
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	B
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
担当者	小久保雅之
再接者	

■ブルダウンから選択

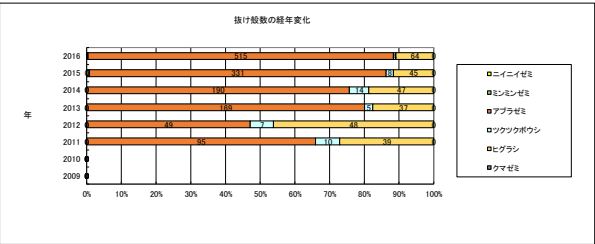
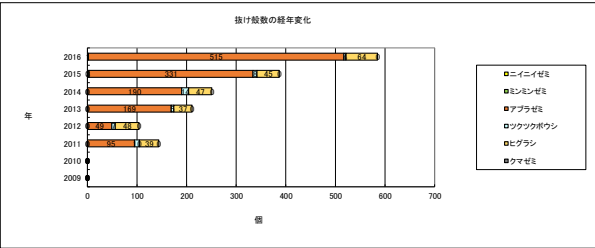
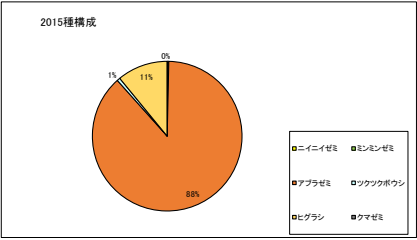
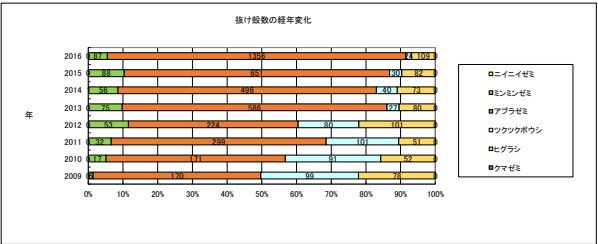
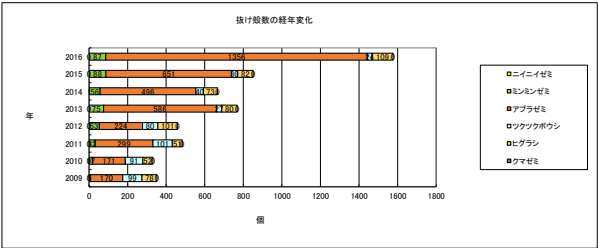
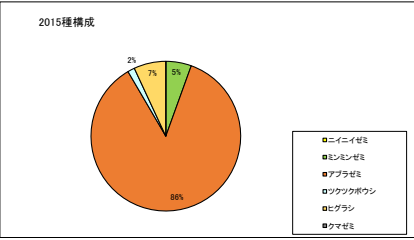
■部分は自動入力(計算)されますので入力しないでください。

調査地参考情報				
声のみを聞いたセミ				
調査地の主な樹木				
調査地関連HP				
調査参加者数	大人	中学生	小学生	幼児

種	♀	♂	7/24	8/21	9/3	計
ニイニゼミ	不明	1	0	0	0	1
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	1	0	0	0	1
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	1	0	1	2
ミンミンゼミ	計	0	1	0	1	2
アブラゼミ	不明	0	0	0	0	0
アブラゼミ	♀	13	189	65	267	467
アブラゼミ	♀	0	193	55	248	446
アブラゼミ	計	13	382	120	515	1030
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	1	1	2
ツクツクボウシ	♀	0	2	1	3	6
ツクツクボウシ	計	0	2	2	4	8
ヒグラシ	不明	0	0	0	0	0
ヒグラシ	♀	11	20	2	33	66
ヒグラシ	♀	2	24	5	31	62
ヒグラシ	計	13	44	7	64	128
クマゼミ	不明	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0	0
合計		27	429	129	585	1171

集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
ニイニゼミ	0	0	0	0	0	0	0	1
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	0	3	1
アブラゼミ	75	31	95	49	169	190	331	515
ツクツクボウシ	8	1	10	7	5	14	8	4
ヒグラシ	14	16	39	48	37	47	45	64
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	97	48	144	104	211	251	387	585

コメント：(改行：ALT+ENTER)
アブラゼミが多いのはAサイトと同じ。ツクツクボウシはこちらでも過去最少だった。
Aサイトに比べ、ミンミンゼミが少ないのは、例年通り。



セミの抜け殻調査報告書2017

■部分を入力 ■ニイニゼミの♀雄別は不要(任意で入力できます)

列や行は削除はしないでください。

年度	2017
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
担当者	小久保
再検者	

■ブルダウンから選択

■部分は自動入力(計算)されますので入力しないでください。

調査地参考情報				
声のみを聞いたセミ				
調査地の主な樹木				
調査地関連HP				
調査参加者数	大人	中学生	小学生	幼児

種	♂	♀	8/5	8/20	9/3	計
ニイニゼミ	不明		0	0	0	0
ニイニゼミ	♂		0	0	0	0
ニイニゼミ	♀		0	0	0	0
ニイニゼミ	計		0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明		0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂		6	24	8	38
ミンミンゼミ	♀		0	27	8	35
ミンミンゼミ	計		6	51	16	73
アブラゼミ	不明		0	0	0	0
アブラゼミ	♂		113	192	65	370
アブラゼミ	♀		40	186	89	315
アブラゼミ	計		153	378	154	685
ツクツクボウシ	不明		0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂		1	7	2	10
ツクツクボウシ	♀		0	2	1	3
ツクツクボウシ	計		1	9	3	13
ヒグラシ	不明		0	0	0	0
ヒグラシ	♂		9	15	8	32
ヒグラシ	♀		8	9	8	25
ヒグラシ	計		17	24	16	57
クマゼミ	不明		0	0	0	0
クマゼミ	♂		0	0	0	0
クマゼミ	♀		0	0	0	0
クマゼミ	計		0	0	0	0
(自由入力)	不明		0	0	0	0
(自由入力)	♂		0	0	0	0
(自由入力)	♀		0	0	0	0
(自由入力)	計		0	0	0	0
合計			177	462	189	828

集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
ニイニゼミ	0	0	0	0	0	1	0	0	0
ミンミンゼミ	5	17	32	53	75	56	88	87	73
アブラゼミ	170	171	299	224	586	496	651	1,356	685
ツクツクボウシ	99	91	101	80	27	40	30	24	13
ヒグラシ	78	52	51	101	80	73	82	109	57
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	352	331	483	458	768	666	851	1576	828

コメント:(改行:ALT+ENTER)
8/5 ヒグラシが減ってアブラゼミが増えている感じ。以前はBにはヒグラシが少なかったが増えてきている。
9/3 アブラゼミは2015年並み。ツクツクボウシ、ヒグラシの減少が著しい。原因は良く分からない。

セミの抜け殻調査報告書2017

■部分を入力 ■ニイニゼミの♀雄別は不要(任意で入力できます)

列や行は削除はしないでください。

年度	2017
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	B
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
担当者	小久保
再検者	

■ブルダウンから選択

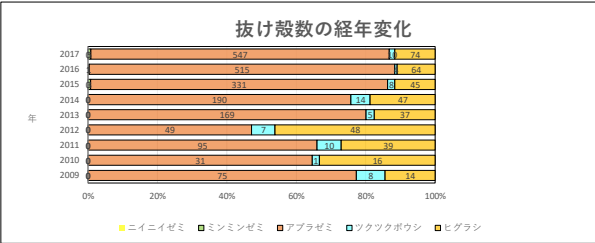
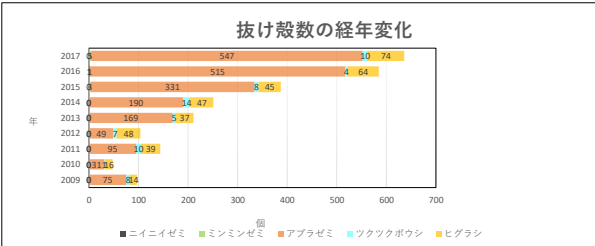
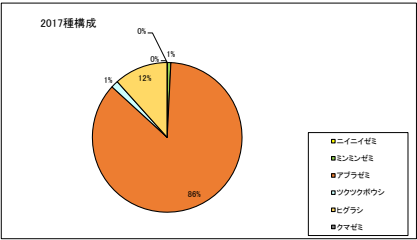
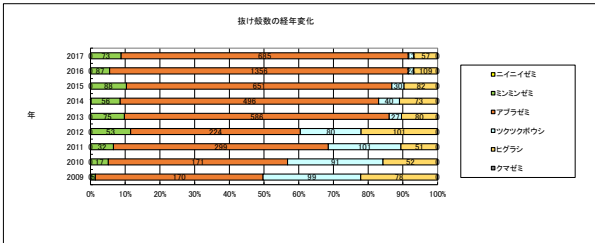
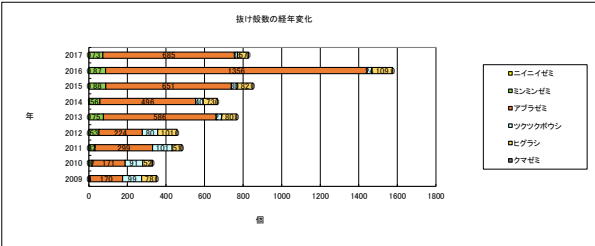
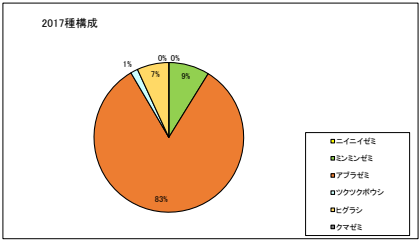
■部分は自動入力(計算)されますので入力しないでください。

調査地参考情報				
声のみを聞いたセミ				
調査地の主な樹木				
調査地関連HP				
調査参加者数	大人	中学生	小学生	幼児

種	♂	♀	8/5	8/20	9/3	計
ニイニゼミ	不明		0	0	0	0
ニイニゼミ	♂		0	0	0	0
ニイニゼミ	♀		0	0	0	0
ニイニゼミ	計		0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明		0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂		2	0	0	2
ミンミンゼミ	♀		0	1	2	3
ミンミンゼミ	計		2	1	2	5
アブラゼミ	不明		0	0	0	0
アブラゼミ	♂		69	133	85	287
アブラゼミ	♀		17	132	111	260
アブラゼミ	計		86	265	196	547
ツクツクボウシ	不明		0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂		0	4	0	4
ツクツクボウシ	♀		0	3	3	6
ツクツクボウシ	計		0	7	3	10
ヒグラシ	不明		0	0	0	0
ヒグラシ	♂		11	7	13	31
ヒグラシ	♀		6	21	16	43
ヒグラシ	計		17	28	29	74
クマゼミ	不明		0	0	0	0
クマゼミ	♂		0	0	0	0
クマゼミ	♀		0	0	0	0
クマゼミ	計		0	0	0	0
(自由入力)	不明		0	0	0	0
(自由入力)	♂		0	0	0	0
(自由入力)	♀		0	0	0	0
(自由入力)	計		0	0	0	0
合計			105	301	230	636

集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
ニイニゼミ	0	0	0	0	0	0	0	1	0
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	0	3	1	5
アブラゼミ	75	31	95	49	169	190	331	515	547
ツクツクボウシ	8	1	10	7	5	14	8	4	10
ヒグラシ	14	16	39	48	37	47	45	64	74
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	97	48	144	104	211	251	387	585	636

コメント:(改行:ALT+ENTER)
8/5 ヒグラシの比率がAサイト並みになってきている。ミンミンゼミも。
9/3 ヒグラシの数も比率もAサイトをうまわった。ミンミンゼミも今後増加していくのだろうか。
アブラゼミも多かった昨年を上回った。



■部分を入力 ■ニイニイゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます） ■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。 ■ブルダウンから選択

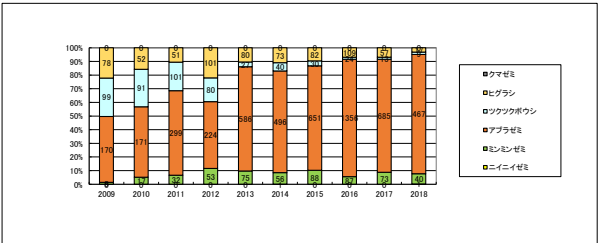
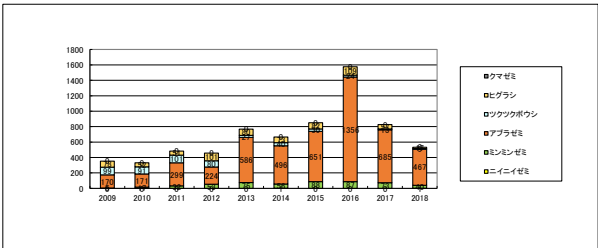
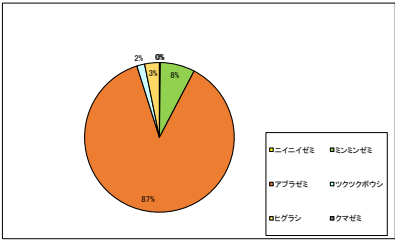
セミの抜け殻調査報告書2018

年度	2018
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
担当者	小久保
再検者	

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	
調査地の主な樹木	コナラ、クヌギ、エゴノキ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 中学生 小学生 幼児

種	♂♀	8/5/	8/19	9/2	計
ニイニイゼミ	不明	0	1	0	1
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	0	1	0	1
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	11	8	0	19
ミンミンゼミ	♀	7	14	0	21
ミンミンゼミ	計	18	22	0	40
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	92	99	11	202
アブラゼミ	♀	118	119	28	265
アブラゼミ	計	210	218	39	467
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	3	1	0	4
ツクツクボウシ	♀	1	9	1	11
ツクツクボウシ	計	4	10	1	15
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	7	2	0	9
ヒグラシ	♀	4	4	0	8
ヒグラシ	計	11	6	0	17
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
合計		243	251	40	534

集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
ニイニイゼミ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
ミンミンゼミ	5	17	32	53	75	56	88	87	73	40
アブラゼミ	170	171	299	224	586	496	651	1,356	685	467
ツクツクボウシ	99	91	101	80	27	40	30	24	13	9
ヒグラシ	78	52	51	101	80	73	82	109	57	17
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	352	331	483	458	768	666	851	1576	828	534



■部分を入力 ■ニイニイゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます） ■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。 ■ブルダウンから選択

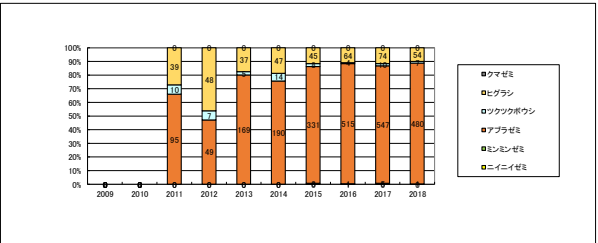
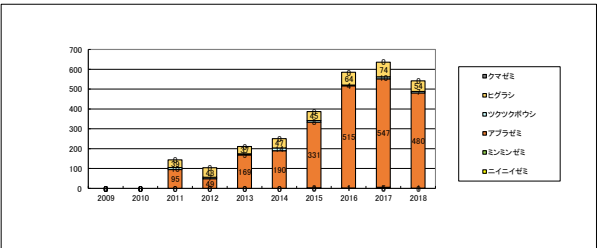
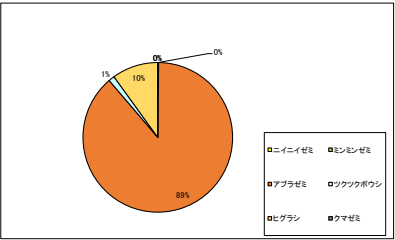
セミの抜け殻調査報告書2018

年度	2018
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	B
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
担当者	小久保
再検者	

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	
調査地の主な樹木	コナラ、クヌギ、エゴノキ
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 中学生 小学生 幼児

種	♂♀	8/5/	8/19	9/2	計
ニイニイゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	1	0	1
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	1	0	1
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	157	97	8	262
アブラゼミ	♀	79	124	15	218
アブラゼミ	計	236	221	23	480
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	1	2	1	4
ツクツクボウシ	♀	2	1	0	3
ツクツクボウシ	計	3	3	1	7
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	9	13	0	22
ヒグラシ	♀	9	23	0	32
ヒグラシ	計	18	36	0	54
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
合計		257	261	24	542

集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
ニイニイゼミ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	0	3	1	5	1
アブラゼミ	75	31	95	49	169	190	331	515	547	480
ツクツクボウシ	8	1	10	7	5	14	8	4	10	7
ヒグラシ	14	16	39	48	37	47	45	64	74	54
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	97	48	144	104	211	251	387	585	636	542



セミの抜け殻調査報告書2019

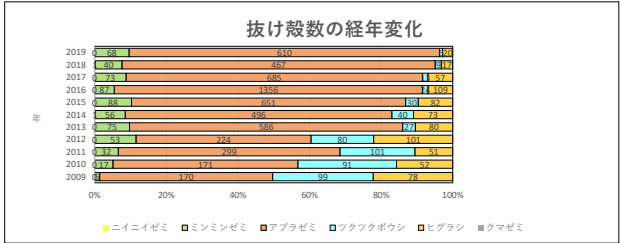
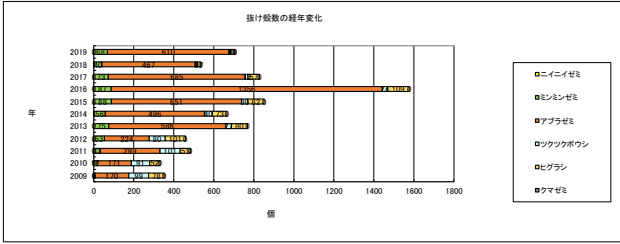
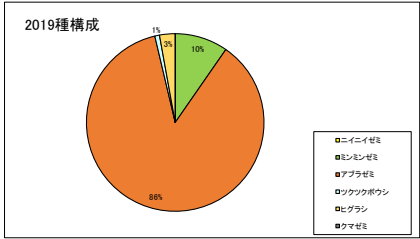
■部分を入力 ■ニイニイゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます） ■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。 ■ブルダウンから選択

年度	2019
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	A
周辺環境	
調査場所の様子	
調査場所の地面	
主担当者	小久保
再接者	

調査地参考情報				
声のみを聞いたセミ				
調査地の主な樹木				
調査地関連HP				
調査参加者数	大人	中学生	小学生	幼児

種	♂♀	8/4	8/18	9/1	計
ニイニイゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	1	16	12	29
ミンミンゼミ	♀	4	23	12	39
ミンミンゼミ	計	5	39	24	68
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	67	183	70	320
アブラゼミ	♀	2	161	127	290
アブラゼミ	計	69	344	197	610
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	2	1	3
ツクツクボウシ	♀	0	3	0	3
ツクツクボウシ	計	0	5	1	6
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	4	9	0	13
ヒグラシ	♀	2	3	2	7
ヒグラシ	計	6	12	2	20
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
合計		80	400	224	704

集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
ニイニイゼミ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0
ミンミンゼミ	5	17	32	53	75	56	88	87	73	40	68
アブラゼミ	170	171	299	224	586	496	651	1,356	685	467	610
ツクツクボウシ	99	91	101	80	27	40	30	24	13	9	6
ヒグラシ	78	52	51	101	80	73	82	109	57	17	20
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	352	331	483	458	768	666	851	1576	828	534	704



セミの抜け殻調査報告書2019

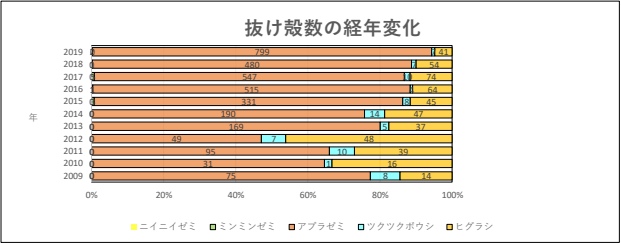
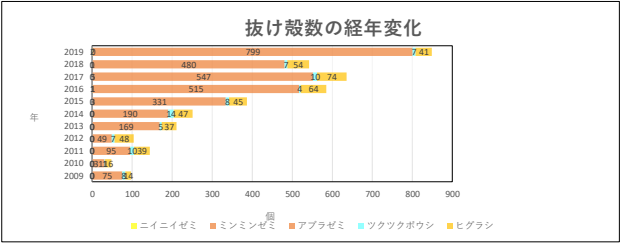
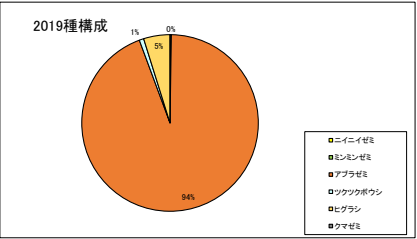
■部分を入力 ■ニイニイゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます） ■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。 ■ブルダウンから選択

年度	2019
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	B
周辺環境	
調査場所の様子	
調査場所の地面	
主担当者	小久保
再接者	

調査地参考情報				
声のみを聞いたセミ				
調査地の主な樹木				
調査地関連HP				
調査参加者数	大人	中学生	小学生	幼児

種	♂♀	8/4	8/18	9/1+	計
ニイニイゼミ	不明	2	0	0	2
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	2	0	0	2
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	0	0	0
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	112	312	31	455
アブラゼミ	♀	16	204	124	344
アブラゼミ	計	128	516	155	799
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	1	2	0	3
ツクツクボウシ	♀	0	2	2	4
ツクツクボウシ	計	1	4	2	7
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	9	14	1	24
ヒグラシ	♀	5	9	3	17
ヒグラシ	計	14	23	4	41
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
合計		145	543	161	849

集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
ニイニイゼミ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	0	3	1	5	1	0
アブラゼミ	75	31	95	49	169	190	331	515	547	480	799
ツクツクボウシ	8	1	10	7	5	14	8	4	10	7	7
ヒグラシ	14	16	39	48	37	47	45	64	74	54	41
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	97	48	144	104	211	251	387	585	636	542	849



■部分を入力 ■ニイニゼミの♂♀鑑別は不要(任意で入力できます) ■部分は自動入力(計算)されますので入力しないでください。 ■ブルダウンから選択

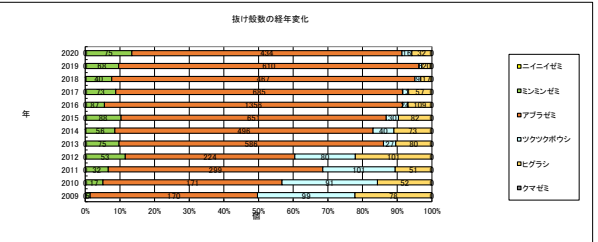
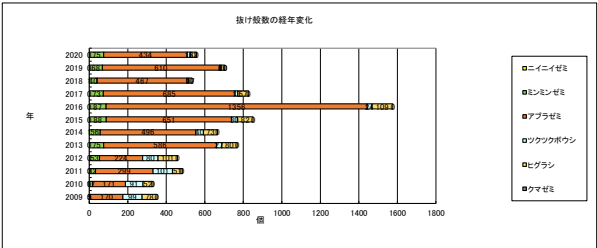
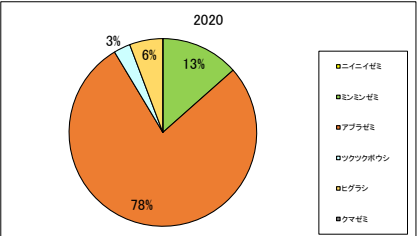
年度	2020
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
主担当者	小久保
再検査	

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ニイニゼミ
調査地の主な樹木	コナラ、クスギ、エゴノキ、コブシなど
調査地関連HP	http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/smp/kurashi/1011090/1011095/10023/
調査参加者数	大人 10 中学生 小学生 幼児

種	♂♀	8/1	8/16	9/6	計
ニイニゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	7	26	3	36
ミンミンゼミ	♀	8	21	10	39
ミンミンゼミ	計	15	47	13	75
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	88	115	56	240
アブラゼミ	♀	21	128	45	194
アブラゼミ	計	90	243	101	434
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	12	2	14
ツクツクボウシ	♀	0	1	1	2
ツクツクボウシ	計	0	13	3	16
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	7	8	1	16
ヒグラシ	♀	10	6	0	16
ヒグラシ	計	17	14	1	32
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
合計		122	317	118	557

集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
ニイニゼミ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
ミンミンゼミ	5	17	32	53	75	56	88	87	73	40	68	75
アブラゼミ	170	171	299	224	586	496	651	1,356	685	467	610	434
ツクツクボウシ	99	91	101	80	27	40	30	24	13	9	6	16
ヒグラシ	78	52	51	101	80	73	82	108	57	17	20	32
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	352	331	483	458	768	666	851	1576	828	534	704	557

コメント：(改行：ALT+ENTER)
武蔵野の雑木林の植生を残す保存緑地で、ヒグラシが多くニイニゼミの抜け殻がほとんどないことを特徴とする。人が入ることはほとんどなく下草で覆われているAサイトと、ベンチやテーブルが設置され地面が踏み固められているBサイトで調査を行っている。どちらのサイトも、2016年まではアブラゼミが増加傾向にあったが、Aサイトでは2017年以降減少した。Bサイトは2018年に若干減少したが2019年は増加し、過去最多となった。Aサイトは2012年まではツクツクボウシの抜け殻数、比率が高かった。当時ツクツクボウシはクミズザクラの古木の周りで多く採取されていたが、その樹が伐採されてしまったからツクツクボウシが減少している。ヒグラシはA、B両サイトで採取されているが、Bサイトで、増加傾向にあり、下草の多さや地面の硬さはヒグラシの羽化数に影響していないようである。Bサイトではアブラゼミの顕著な減少は起きていない。
2020年サイトの西側が下草狩りがされ、境目にあったアオダモの古木が伐採された。その周辺でツクツクボウシの抜け殻が多かった、伐採の影響が心配される。9月6日は台風10号が九州に接近中で天気不安定、朝まで大雨が降っていた。それまでの雨もあり、流されて採取が少なくなった可能性あり。



■部分を入力 ■ニイニゼミの♂♀鑑別は不要(任意で入力できます) ■部分は自動入力(計算)されますので入力しないでください。 ■ブルダウンから選択

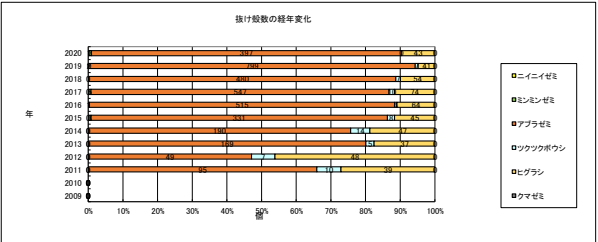
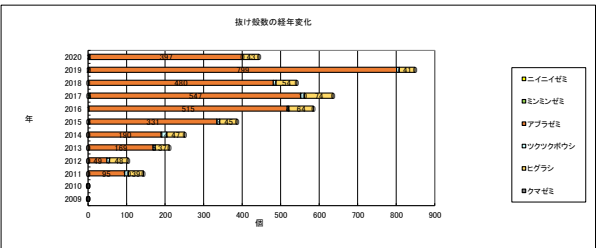
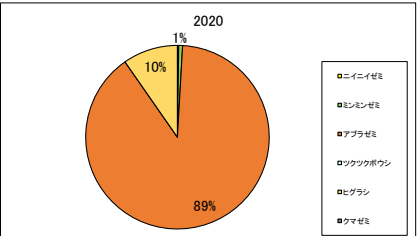
年度	2020
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	B
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	土が露出
主担当者	小久保
再検査	

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	ニイニゼミ
調査地の主な樹木	
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 中学生 小学生 幼児

種	♂♀	8/1	8/16	9/6	計
ニイニゼミ	不明	0	1	0	1
ニイニゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	1	0	1
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	2	0	2
ミンミンゼミ	♀	0	1	0	1
ミンミンゼミ	計	0	3	0	3
アブラゼミ	不明	0	6	2	8
アブラゼミ	♂	26	128	50	204
アブラゼミ	♀	4	105	76	185
アブラゼミ	計	30	233	126	389
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	1	0	0	1
ヒグラシ	♂	7	13	3	23
ヒグラシ	♀	4	11	4	19
ヒグラシ	計	12	24	7	43
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
合計		42	287	135	444

集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
ニイニゼミ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	0	3	1	5	1	0	3
アブラゼミ	0	0	95	49	169	190	331	515	547	480	799	397
ツクツクボウシ	0	0	10	7	5	14	8	4	10	7	7	0
ヒグラシ	0	0	39	48	37	47	45	64	74	54	41	43
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	0	0	144	104	211	251	387	585	636	542	849	444

コメント：(改行：ALT+ENTER)
道を挟んだ西側が萌芽更新のため伐採された。
ナラ枯れ病が目立っている。枯れていない木でも、幹回りに木くずが落ちているコナラが多数。



■部分を入力 ■ニイニイゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます）

年度	2021
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
主担当省	小久保
再検査	

種	♂♀	8/1	8/21	8/29	計
ニイニイゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	8	23	13	44
ミンミンゼミ	♀	2	20	12	34
ミンミンゼミ	計	10	43	25	78
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	237	135	92	464
アブラゼミ	♀	73	151	130	344
アブラゼミ	計	310	276	222	808
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	1	3	4
ツクツクボウシ	♀	0	0	4	4
ツクツクボウシ	計	0	1	7	8
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	4	1	1	6
ヒグラシ	♀	7	2	11	20
ヒグラシ	計	11	3	12	26
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
合計		331	323	266	920

集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
ニイニイゼミ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
ミンミンゼミ	5	17	32	53	75	56	88	87	73	40	68	75	78
アブラゼミ	170	171	299	224	586	496	651	1,356	685	467	610	434	808
ツクツクボウシ	99	91	101	80	27	40	30	24	13	9	6	16	8
ヒグラシ	78	52	51	101	80	73	82	109	57	17	20	32	26
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	352	331	483	458	768	666	851	1576	828	534	704	557	920

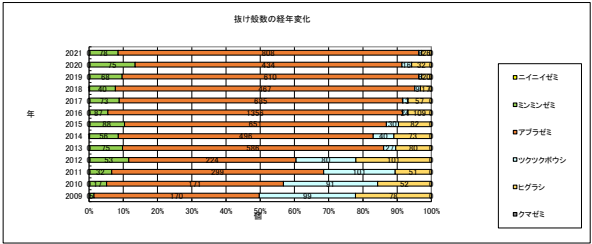
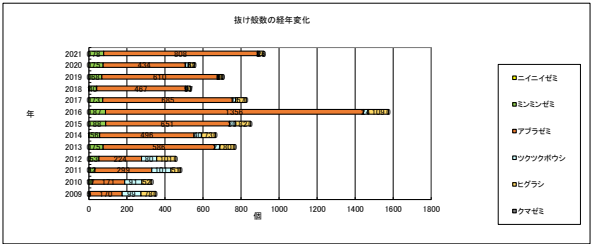
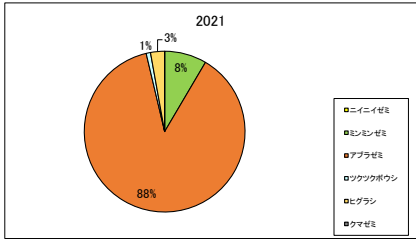
コメント：(改行：ALT+ENTER)
今年 は梅雨明けが7月16日と昨年の8月1日より早く、梅雨明け後は7月25日まで天候が安定し最高気温も32℃以上の日が多かった。その後、7月27日に台風8号が接近し天気が崩れたものの、梅雨明けが早かったことが昨年に比べ第1回目(8月1日) 調査での抜け殻数の増加（2020年122個に対し2021年331個）につながって考えられる。7月28日にち以降8月11日までは気温が高く晴れの日が多かったが、12日から17日まで前線が停滞し、雨で気温の低い日が続いたため、2回目の調査を15日から22日に変更した。2回目と3回目の調査機関が短かったこと、羽化のピークが早まっていた可能性があることから3回目の調査で採取される抜け殻数が少ないことが予想されていたが、どの種も昨年以上の数が採取された。落ちている抜け殻も多かったが、羽化のピーク時期が早まったも8月中旬以降に羽化するセミも相当数あったことが分かる。Aサイトの3回の調査での抜け殻総数は920個と2016年以来5年ぶりに900個を超えた。昨年、アオダモの巨木が伐採されたことがツクツクボウシの羽化数に影響することが懸念されたが、昨年の1/2の8個となったものの、2018年2019年と同レベルであった。ツクツクボウシは2012年以前と比べ減少した状態が持続、ヒグラシも2016年以前に比べ減少した状態が継続しており、今後の動向が注目される。

セミの抜け殻調査報告書2021

■ブルダウンから選択

■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	
調査地の主な樹木	コナラ、クヌギ、エゴノキ、コブシなど
調査地関連HP	https://www.city.kokubunji.tokyo.jp/kurashi/1011090/1011095/1002375.html
調査参加者数	大人 中学生 小学生 幼児



■部分を入力 ■ニイニイゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます）

年度	2021
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	B
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	土が露出
主担当省	小久保
再検査	

種	♂♀	8/1	8/21	8/29	計
ニイニイゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♀	0	0	1	1
ミンミンゼミ	計	0	0	1	1
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	117	86	65	268
アブラゼミ	♀	24	106	74	204
アブラゼミ	計	141	192	139	472
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	1	0	0	1
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	1	0	0	1
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	9	1	4	14
ヒグラシ	♀	6	5	4	15
ヒグラシ	計	15	6	8	29
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
合計		157	198	148	503

集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
ニイニイゼミ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	0	3	1	5	1	0	3	1
アブラゼミ	0	0	95	49	169	190	331	515	547	480	799	397	472
ツクツクボウシ	0	0	10	7	5	14	8	4	10	7	7	0	1
ヒグラシ	0	0	39	48	37	47	45	64	74	54	41	43	29
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	0	0	144	104	211	251	387	585	636	542	849	444	503

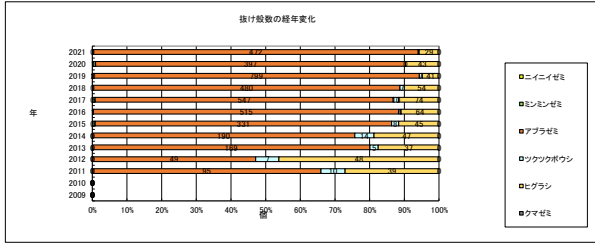
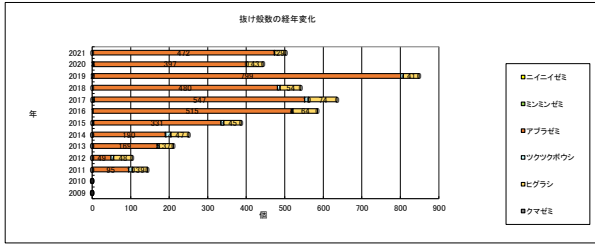
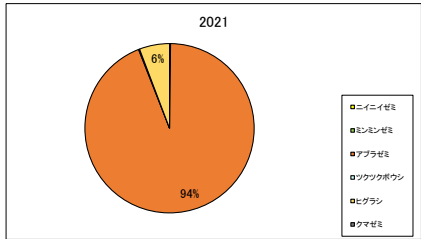
コメント：(改行：ALT+ENTER)
ナラ枯れが目立っており、被害に遭ったコナラにビニールが巻かれていて、カシノナガキクイムシが飛び出すのを防いでいるのだろうか。一般的には被害に遭っていない残したい木に行うらしいが、Aサイトが昨年に比べ大幅にアブラゼミの数が増加したのに対してそれほど増えていない。ヒグラシの数が過去最低だったことが気になる。ツクツクボウシは1個あったものの、2019年までに比べて昨年から激減している。ナラ枯れ以外に環境の大きな変化はなく、ナラ枯れの被害に遭ったコナラの木で産卵が多かった可能性があるかもしれない。
2年前からクマゼミの声が聞こえ始めたが、今年はより明確だった。抜け殻はまだ見つかっていないが、少しずつ増えてくる可能性がある。

セミの抜け殻調査報告書2021

■ブルダウンから選択

■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	クマゼミ
調査地の主な樹木	
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 中学生 小学生 幼児



■部分を入力 ■ニイニゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます）

列や行は削除はしないでください。

年度	2022
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
主担当者	小久保
観検者	

種	♂♀	8/6	8/21	9/3	計
ニイニゼミ	不明	1	0	0	1
ニイニゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	1	0	0	1
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	12	15	5	32
ミンミンゼミ	♀	2	20	1	23
ミンミンゼミ	計	14	35	6	55
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	250	155	49	454
アブラゼミ	♀	115	208	73	396
アブラゼミ	計	365	363	122	850
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	1	0	1
ツクツクボウシ	♀	0	2	0	2
ツクツクボウシ	計	0	3	0	3
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	13	0	0	13
ヒグラシ	♀	5	5	0	10
ヒグラシ	計	18	5	0	23
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
合計		398	406	128	932

集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
ニイニゼミ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1
ミンミンゼミ	5	17	32	53	75	56	88	87	73	40	68	75	78	55
アブラゼミ	170	171	299	224	586	496	651	1,356	685	467	610	434	808	850
ツクツクボウシ	99	91	101	80	27	40	30	24	13	9	6	16	8	3
ヒグラシ	78	52	51	101	80	73	82	109	57	17	20	32	26	23
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	352	331	483	458	768	666	851	1576	828	534	704	557	920	932

コメント：(改行：ALT+ENTER)

本調査はセミの抜け殻しらべ市民ネットで行っている手法すなわち、7月下旬から8月上旬に下見を兼ねた第1回目の調査、子供と一緒に8月中旬にイベントとして行う2回目の調査、そして8月下旬から9月上旬に3回目の調査を行うことで、その場所で羽化したほとんど全てのセミの抜け殻を集め、種類と数を把握するという調査方法でデータを積み重ねてきた。本調査地の特徴は夕方にはヒグラシが鳴き、抜け殻が毎年採取され、ニイニゼミがほとんどいないことである。東京近郊の住宅街の一角に残されたさほど広くない雑木林であるが、ヒグラシの構成比率が高いところは珍しい。ここ数年クマゼミの声が聞こえることがあるが、今まで抜け殻が確認されたことはない。

サイトの設定はA、Bの2箇所としている。

環境の違いによって、抜け殻の数（面積あたりの密度）や種構成比較できるよう設定している。

サイトAはクヌギ、コナラ、コブシ、エゴノキなどが多く、アズマネザサなどの下草も多く、人が入れないようにロープが張られている場所で、特別に許可を得て調査させて頂いている。

サイトBは樹種はサイトAと大きな違いはないが、ベンチやテーブルがあり、人がいつでも入れるため、地面は踏み固められていて落葉下草はほとんどない。

サイトAの経年変化

抜け殻総数は2017年まで増加傾向が続き、アブラゼミの増加に伴うものと考えられる。2012年にはヒグラシとアブラゼミがほぼ同数であったが、ヒグラシの比率はその2012年をピークにアブラゼミの増加と共に減少傾向が続いている。2017年以降はアブラゼミの数の年によりまちまちで、アブラゼミの少ない年にはヒグラシの比率が増えている傾向はあるが、数の減少傾向が続いている。ツクツクボウシは調査を開始した2019年から2012年までは毎年100個前後の抜け殻が採取されていたが、それ以降急激に減少した。これはワミズグラの巨木の伐採と関連があるかもしれない。

サイトAの2022年の調査結果

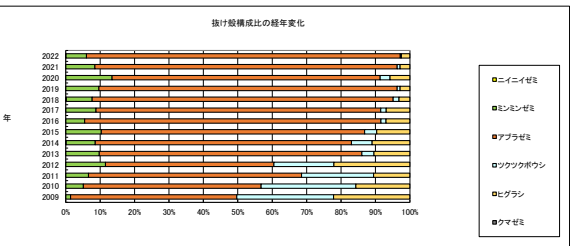
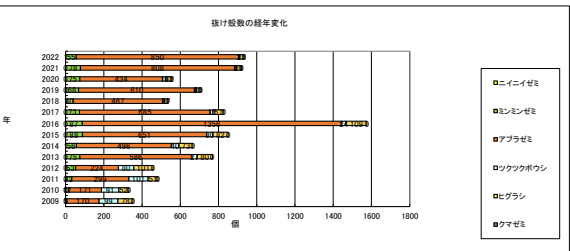
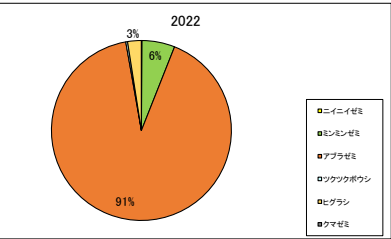
種の構成比と抜け殻の数は2021年と大きな差はなかった。ただし、3回目の調査での抜け殻数が少なく、しかも多くは地面に落ちたもので、2回目の調査での取り残し、高い場所にまからあったものが落ちてきていた可能性も多いと考えられた。8月21日の2回目の調査までに2022年が約70%だったのに対し、2022年は86%で、早く羽化が終了してしまった可能性が高い。他の調査地でも同じ傾向がある可能性が注目したい。原因としては梅雨明けが早く7月の徐渾から気温が高かったことが影響している可能性がある。

セミの抜け殻調査報告書2022

■ブルダウンから選択

■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

調査地参考情報				
声のみを聞いたセミ				
調査地の主な樹木	コナラ、クヌギ、エゴノキ、コブシなど			
調査地関連HP	https://www.city.kokubunji.tokyo.jp/kurashi/1011090/1011095/1002375.html			
調査参加者数	大人	中学生	小学生	幼児



■部分を入力 ■ニイニゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます）

列や行は削除はしないでください。

年度	2022
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	B
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
主担当者	小久保
観検者	

種	♂♀	8/6	8/21	9/3	計
ニイニゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	1	0	0	1
ミンミンゼミ	♀	1	0	0	1
ミンミンゼミ	計	2	0	0	2
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	295	91	19	405
アブラゼミ	♀	152	172	35	359
アブラゼミ	計	447	263	54	764
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	11	6	0	17
ヒグラシ	♀	0	13	1	14
ヒグラシ	計	11	19	1	31
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
合計		460	282	55	797

集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
ニイニゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	0	3	1	5	1	0	3	1	2
アブラゼミ	0	0	95	49	169	190	331	515	547	480	799	397	472	764
ツクツクボウシ	0	0	10	7	5	14	8	4	10	7	7	0	1	0
ヒグラシ	0	0	39	48	37	47	45	64	74	54	41	43	29	31
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	0	0	144	104	211	251	387	585	636	542	849	444	503	797

コメント：(改行：ALT+ENTER)

サイトBの経年変化

サイトAと同様に、抜け殻総数は2017年まで増加傾向が続き、アブラゼミの増加に伴うものと考えられる。ヒグラシとツクツクボウシが減少傾向であることはサイトAと同じであるが、ヒグラシの減少はAサイトに比べて緩やかである。人が自由に入れることから、サイトBはさいとAに比べて地面が固く、下草が少ないが、ヒグラシにとって、こういった環境は不利にはならないのかもしれない。

サイトBの2022年の調査結果

抜け殻の総数が2021年の503個に対して797個と約1.5倍に増加している。増加したのはアブラゼミであり、その分他のセミの構成比が小さくなっている。サイトAでは昨年との差はなかったのに対し、Bサイトが大幅に増加した理由については不明である。3回の調査の合計数のうち8月21日の2回目までに集めた数のパーセンテージを比較すると2021年が約70%だったのに対し、2022年は93%であった。Aサイト以上に早く羽化が終了してしまったことになる。

調査全体のまとめ

サイトA、サイトB、どちらも調査を開始した頃にくらべ、アブラゼミが増加傾向であるのに対し、ヒグラシとツクツクボウシは減少傾向である。年毎に羽化数は増減するが、ここ数年は構成比は大きな変動はない。ツクツクボウシについては特定の古木の伐採を契機に数が減少している可能性がある。クマゼミはここ数年鳴き声が聞かれているが、今のところ抜け殻は見つかっていない。

サイトAとサイトBは樹種に大きな差はないが、地面の様子は大きく異なる。セミの種構成はミンミンゼミがサイトAには一定数いるが、サイトBでは少ない。一方、ヒグラシの構成比は、2018年以降、サイトBの方が多くなっているミンミンゼミとヒグラシの好む環境が異なるのかもしれない。

今後も毎年調査することによって、ミンミンゼミ、ツクツクボウシ、ヒグラシがバランスよく生息する生物多様な豊かな緑地として保全されていることをモニタリングしていきたいと考える。

■部分を入力 ■ニイニゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます）

列や行は削除しないでください。

年度	2023
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
主担当者	小久保
再接者	

種	♂♀	8/11	8/20	9/2	計
ニイニゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	25	15	5	45
ミンミンゼミ	♀	22	21	5	48
ミンミンゼミ	計	47	36	10	93
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	232	250	38	520
アブラゼミ	♀	154	281	89	524
アブラゼミ	計	386	531	127	1,044
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	1	1	2
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	1	1	2
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	6	11	2	19
ヒグラシ	♀	0	7	2	9
ヒグラシ	計	6	18	4	28
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
合計		439	586	142	1,167

集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
ニイニゼミ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0
ミンミンゼミ	5	17	32	53	75	56	88	87	73	40	68	75	78	55	93
アブラゼミ	170	171	299	224	586	496	651	1,356	685	467	610	434	808	850	1,044
ツクツクボウシ	99	91	101	80	27	40	30	24	13	9	6	16	8	3	2
ヒグラシ	78	52	51	101	80	73	82	109	57	17	20	32	26	23	28
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	352	331	483	458	768	666	851	1576	828	534	704	557	920	932	1,167

コメント：(改行：ALT+ENTER)

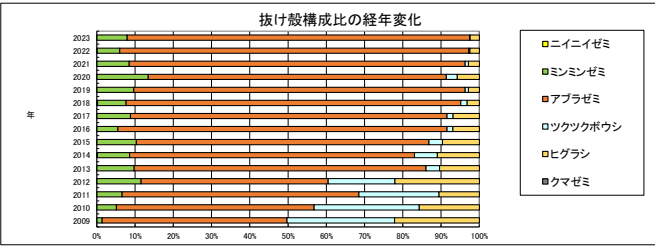
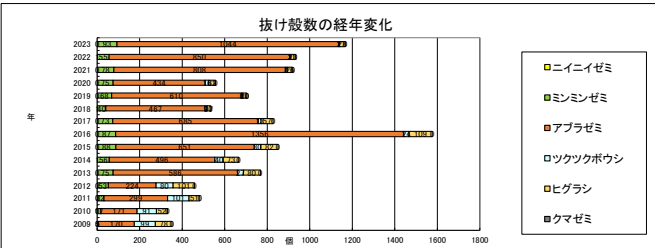
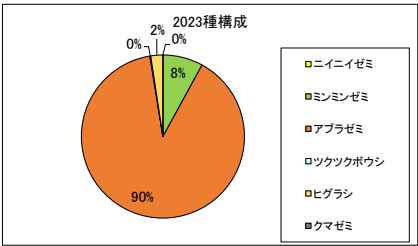
今年は1回目の調査が8/11のいつもより1週間程度遅くなった。下草が刈られていて、調査はし易かったが、下草で羽化した抜け殻は除かれた可能性あったが、かすは多かった。昨年よりミンミンが多く14⇒47、ヒグラシが少なかった18⇒6。
7月から猛暑日が続いており、他の調査地の情報などからセミの羽化が早まっていると言われていたため、2回目の数が極端に少なることを懸念していたが、2回目の子供たちと一緒に調査（8/22）では1回目以上に数が多かった。ツクツクボウシの抜け殻が多くなるのを期待したが、オス1個だけだった。
9/2の3回目調査では、ツクツクボウシの声がしているものの、森は静かで抜け殻の数も少なかった。
期待したツクツクボウシもオス1個だけであった。アブラゼミ、ミンミンゼミはかなりの数が採取された。
トータルとして、過去2番目の総数が採取されたが、過去に比べアブラゼミの比率が上昇しており、ツクツクボウシ、ヒグラシが減少してきているのが気になる。

セミの抜け殻調査報告書2023

■ブルダウンから選択

■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

調査地参考情報				
声のみを聞いたセミ				
調査地の主な樹木	コナラ、クヌギ、エゴ/キ、コブシなど			
調査地関連HP	https://www.city.kokubunji.tokyo.jp/kurashi/1011090/1011095/1002375.html			
調査参加者数	大人	中学生	小学生	幼児



■部分を入力 ■ニイニゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます）

列や行は削除しないでください。

年度	2023
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	B
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	土が露出
主担当者	小久保
再接者	

種	♂♀	8/11	8/20	9/2	計
ニイニゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	1	0	0	1
ミンミンゼミ	♀	2	0	0	2
ミンミンゼミ	計	3	0	0	3
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	184	113	18	315
アブラゼミ	♀	179	144	28	351
アブラゼミ	計	363	257	46	666
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	1	1	0	2
ツクツクボウシ	♀	0	3	0	3
ツクツクボウシ	計	1	4	0	5
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	5	8	1	14
ヒグラシ	♀	3	8	1	12
ヒグラシ	計	8	16	2	26
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
合計		375	277	48	700

集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
ニイニゼミ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	3	1	5	1	0	3	1	2	3	3
アブラゼミ	0	0	95	49	169	190	331	515	547	480	799	397	472	764	666
ツクツクボウシ	0	0	10	7	5	14	8	4	10	7	7	0	1	0	5
ヒグラシ	0	0	39	48	37	47	45	64	74	54	41	43	29	31	26
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	0	0	144	104	211	251	387	585	636	542	849	444	503	797	700

コメント：(改行：ALT+ENTER)

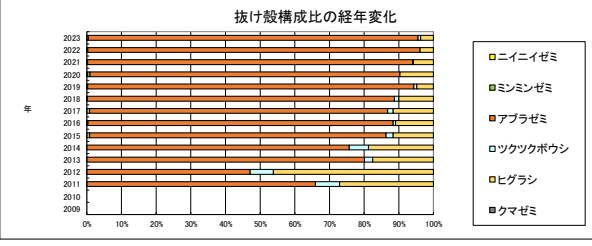
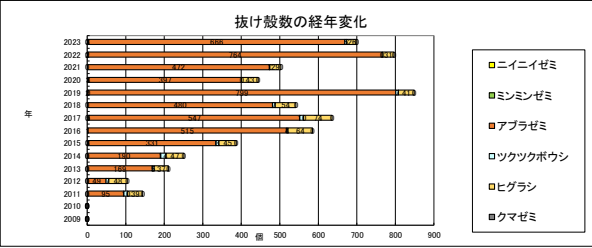
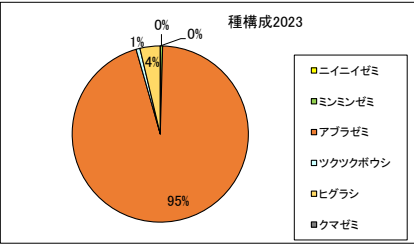
Aサイトに比べて、普段から子供たちが中に入っている場所で、地面が露出している部分が多く地表も堅い。調査開始当初より、Aサイトに比べミンミンゼミが少なく、その傾向は今年も同じであった。
ヒグラシは暗く、地面が湿っている深い森に多い印象があるが、ヒグラシの数は、Aサイトと同程度で、しかも毎年安定している。ヒグラシがどういう場所を好み、産卵場所として選ぶかについて考える上で、参考になりそうだ。ただし、アブラゼミの絶対数が増加傾向のため、ヒグラシの比率は下ってきている。

セミの抜け殻調査報告書2023

■ブルダウンから選択

■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

調査地参考情報				
声のみを聞いたセミ				
調査地の主な樹木				
調査地関連HP				
調査参加者数	大人	中学生	小学生	幼児



■部分を入力 ■ニイニゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます）

列や行は削除はしないでください。	
年度	2024
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
担当者	小久保
再検査	

種	♂♀	8/3	8/18	8/31	計
ニイニゼミ	不明	0	0	0	0
ニイニゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	0	0	0	0
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	3	23	0	26
ミンミンゼミ	♀	3	19	1	23
ミンミンゼミ	計	6	42	1	49
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	123	252	0	375
アブラゼミ	♀	44	296	14	354
アブラゼミ	計	167	548	14	729
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	2	0	2
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	2	0	2
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	3	1	0	4
ヒグラシ	♀	1	1	0	2
ヒグラシ	計	4	2	0	6
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
合計		177	584	15	786

集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
ニイニゼミ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
ミンミンゼミ	5	17	32	53	75	56	88	87	73	40	68	75	78	55	93	49
アブラゼミ	170	171	299	224	586	496	651	1,356	685	467	610	434	808	850	1,044	729
ツクツクボウシ	99	91	101	80	27	40	30	24	13	9	6	16	8	3	2	2
ヒグラシ	78	52	51	101	80	73	82	109	57	17	20	32	26	23	28	6
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	352	331	483	458	788	666	851	1576	828	534	704	557	920	932	1167	786

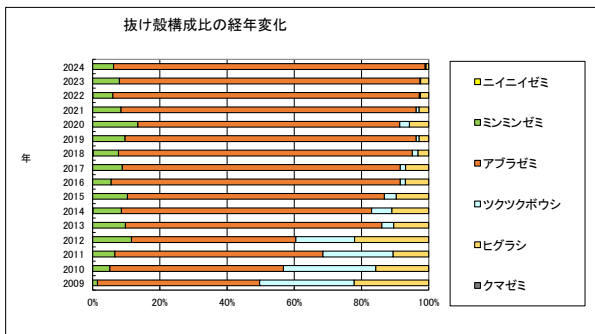
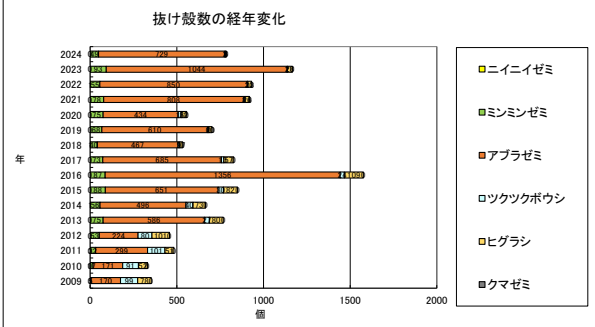
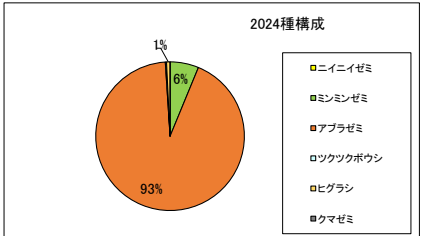
コメント：(改行：ALT+ENTER)
国分寺X山では、二つの環境の異なるサイトで調査を実施しているが、普段入の手があまり入らないAサイトはミンミンゼミの抜け殻が多いのが特徴である。昨年、過去一番のミンミンゼミの数だったが、今年は平年並みだった。ツクツクボウシは2018年以降減少し、さらに2021年からは2・3個しか採れなくなった。ヒグラシも2018年以降減少していたが、今年は特に少なく6個と過去最低となってしまった。

セミの抜け殻調査報告書2024

■ブルダウンから選択

■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

調査地参考情報				
年度	2024			
声のみを聞いたセミ				
調査地の主な樹木	コナラ、クスギ、エゴノキ、コブシなど			
調査地関連HP				
調査参加者数	大人 中学生 小学生 幼児			



■部分を入力 ■ニイニゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます）

列や行は削除はしないでください。	
年度	2024
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	一面に下草・落ち葉
担当者	小久保
再検査	

種	♂♀	8/3	8/18	8/31	計
ニイニゼミ	不明	2	0	0	2
ニイニゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニゼミ	計	2	0	0	2
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	2	1	0	3
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	2	1	0	3
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	106	127	1	234
アブラゼミ	♀	67	171	14	252
アブラゼミ	計	173	298	15	486
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	1	0	1
ツクツクボウシ	計	0	1	0	1
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	5	3	1	9
ヒグラシ	♀	1	3	0	4
ヒグラシ	計	6	6	1	13
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
合計		183	306	16	505

集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
ニイニゼミ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	2
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	0	3	1	5	1	0	3	1	2	3	3
アブラゼミ	0	0	95	49	169	190	331	515	547	480	799	397	472	764	666	486
ツクツクボウシ	0	0	10	7	5	14	8	4	10	7	7	0	1	0	5	1
ヒグラシ	0	0	39	48	37	47	45	64	74	54	41	43	29	31	26	13
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	0	0	144	104	211	251	387	585	636	542	849	444	503	797	700	505

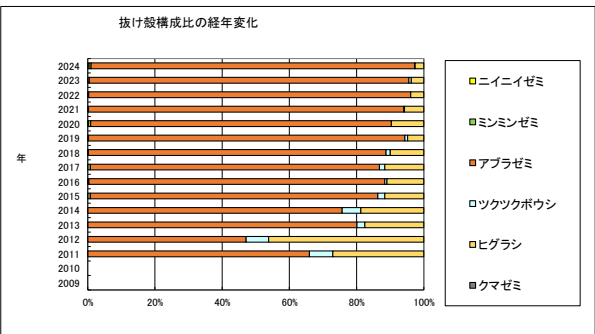
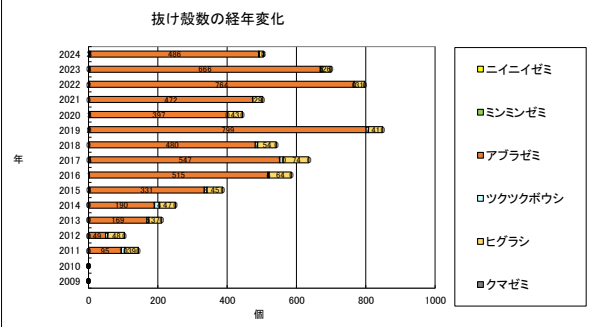
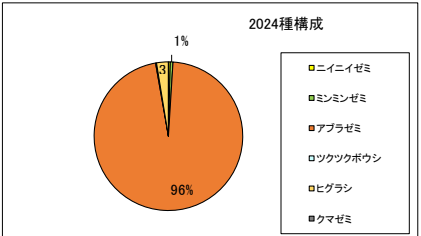
コメント：(改行：ALT+ENTER)
Bサイトは普段から人が入り、Aサイトと比べ地面が踏み固められ、下草が少ない場所である。特に今年はナラ結れの影響を受けていた樹木が、1回目の調査前の強い風で落枝が多くあったため、危険とのことで多くのコナラなどの大木が伐採された。その影響は今年の調査結果にも影響している可能性があるし、今後のセミの産卵、伐採された樹木の根で暮らしていた幼虫にも影響して、今後のセミの羽化に影響が出る可能性が否定できない。もともと対照的な環境であるAサイトに比べ、ミンミンゼミの抜け殻が少ない傾向は今年も同様であった。ヒグラシは2018年以降、常にAサイトよりもBサイトで多くの抜け殻が採取されていて、今年も同じ傾向ではあったが、A/B両サイト共に、昨年より大幅に現象しているのが気かりである。

セミの抜け殻調査報告書2024

■ブルダウンから選択

■部分は自動入力（計算）されますので入力しないでください。

調査地参考情報				
年度	2024			
声のみを聞いたセミ				
調査地の主な樹木	コナラ、クスギ、エゴノキ、コブシなど			
調査地関連HP				
調査参加者数	大人 中学生 小学生 幼児			



■部分を入力 ■ニイニイゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます）

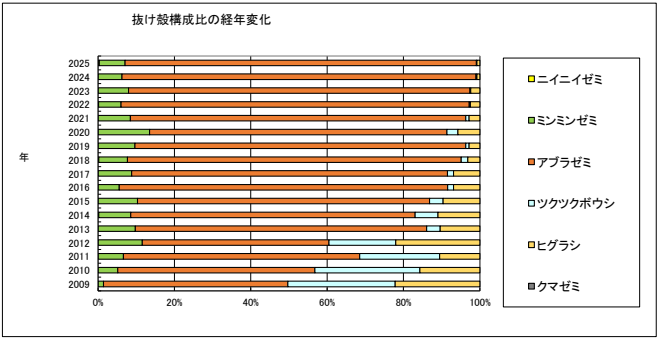
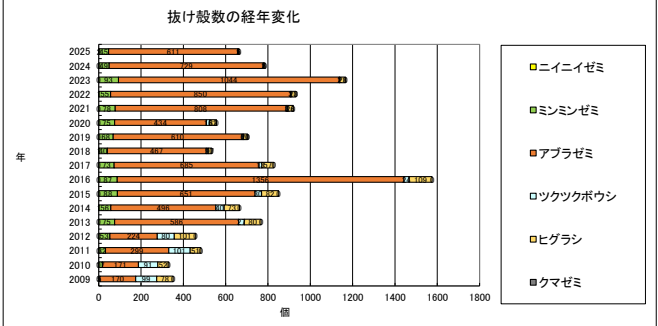
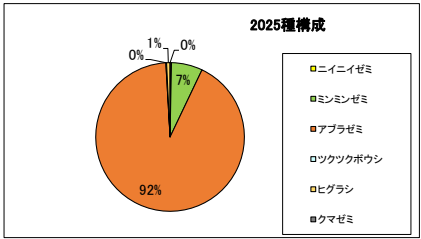
年度	2025
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	A
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
主担当者	小久保
班後者	

種	♂♀	8/1	8/17	9/6	計
ニイニイゼミ	不明	2	0	0	2
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	2	0	0	2
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	5	15	4	24
ミンミンゼミ	♀	2	14	5	21
ミンミンゼミ	計	7	29	9	45
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	72	202	35	309
アブラゼミ	♀	15	211	78	302
アブラゼミ	計	87	413	111	611
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	1	0	1
ツクツクボウシ	計	0	1	0	1
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	1	2	0	3
ヒグラシ	♀	1	1	0	2
ヒグラシ	計	2	3	0	5
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
合計		98	446	120	664

セミの抜け殻調査報告書2025

■ブルダウンから選択

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	
調査地の主な樹木	コナラ、クヌギ、エゴノキ、コブシなど
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 中学生 小学生 幼児



集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
ニイニイゼミ	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
ミンミンゼミ	5	17	32	53	75	56	88	87	73	40	68	75	78	55	93	49	45
アブラゼミ	170	171	299	224	586	496	651	1,356	685	467	610	434	808	850	1,044	729	611
ツクツクボウシ	99	91	101	80	27	40	30	24	13	9	6	16	8	3	2	2	1
ヒグラシ	78	52	51	101	80	73	82	109	57	17	20	32	26	23	28	6	5
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	352	331	483	458	768	666	851	1576	828	534	704	557	920	932	1167	786	664

コメント：(改行：ALT+ENTER)

国分寺X山では、二つの環境の異なるサイトで調査を実施しているが、普段入の手があまり入らAサイトはミンミンゼミの抜け殻が多いのが特徴である。2023年は過去一番のミンミンゼミの数だったが、昨年、今年は平年並みだった。ツクツクボウシは2018年以降減少し、さらに2021年からは2・3個しか採れなくなり、今年はAサイトだけで1個のみとなった。9月6日の3回目の調査で1個もなかったのは残念。ツクツクボウシの声は聞こえていた。前日に台風による大雨が降ったことにより、軽くて筆者なツクツクボウシの抜け殻は流された可能性もあるが、落ちているものも見つけれなかった。ヒグラシも2018年以降減少して、今年は昨年より1個減って5個となってしまった。ツクツクボウシもヒグラシも一度現象してしまうと、復活してくることは難しいのかもしれない。

■部分を入力 ■ニイニイゼミの♂♀鑑別は不要（任意で入力できます）

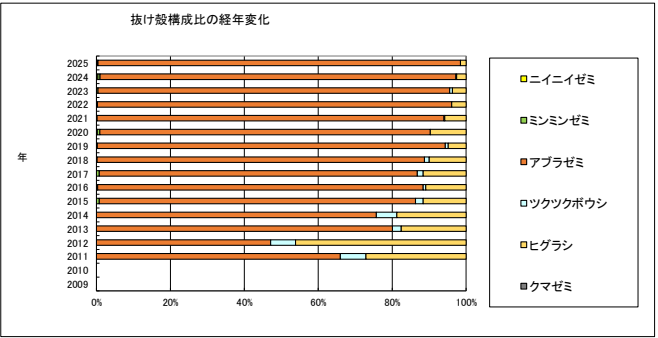
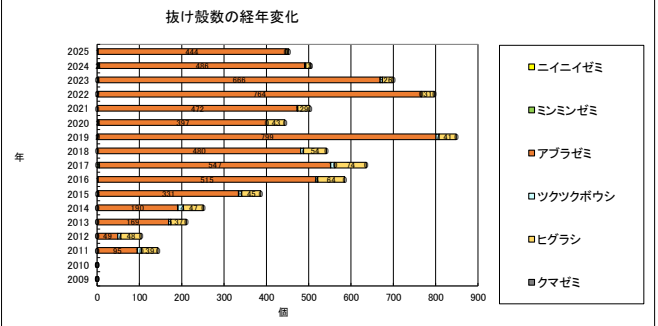
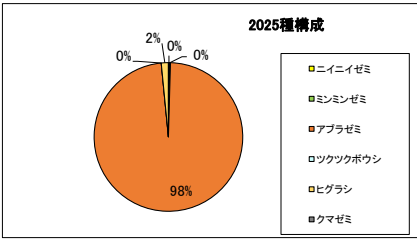
年度	2025
都道府県名	東京都
調査地名	国分寺X山
サイト名	B
周辺の環境	平地
調査場所の様子	自然公園・保存緑地
調査場所の地面	下草・落ち葉がまばら
主担当	小久保
班後者	

種	♂♀	8/1	8/17	9/6	計
ニイニイゼミ	不明	0	1	0	1
ニイニイゼミ	♂	0	0	0	0
ニイニイゼミ	♀	0	0	0	0
ニイニイゼミ	計	0	1	0	1
ミンミンゼミ	不明	0	0	0	0
ミンミンゼミ	♂	0	1	0	1
ミンミンゼミ	♀	0	0	0	0
ミンミンゼミ	計	0	1	0	1
アブラゼミ	不明	0	0	0	0
アブラゼミ	♂	79	156	16	251
アブラゼミ	♀	21	139	33	193
アブラゼミ	計	100	295	49	444
ツクツクボウシ	不明	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♂	0	0	0	0
ツクツクボウシ	♀	0	0	0	0
ツクツクボウシ	計	0	0	0	0
ヒグラシ	不明	0	0	0	0
ヒグラシ	♂	2	3	0	5
ヒグラシ	♀	0	2	0	2
ヒグラシ	計	2	5	0	7
クマゼミ	不明	0	0	0	0
クマゼミ	♂	0	0	0	0
クマゼミ	♀	0	0	0	0
クマゼミ	計	0	0	0	0
(自由入力)	不明	0	0	0	0
(自由入力)	♂	0	0	0	0
(自由入力)	♀	0	0	0	0
(自由入力)	計	0	0	0	0
合計		102	302	49	453

セミの抜け殻調査報告書2025

■ブルダウンから選択

調査地参考情報	
声のみを聞いたセミ	
調査地の主な樹木	
調査地関連HP	
調査参加者数	大人 中学生 小学生 幼児



集計表	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
ニイニイゼミ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	2	1
ミンミンゼミ	0	0	0	0	0	0	3	1	5	1	0	3	1	2	3	3	1
アブラゼミ	0	0	95	49	169	190	331	515	547	480	799	397	472	764	666	486	444
ツクツクボウシ	0	0	10	7	5	14	8	4	10	7	7	0	1	0	5	1	0
ヒグラシ	0	0	39	48	37	47	45	64	74	54	41	43	29	31	26	13	7
クマゼミ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(自由入力)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	0	0	144	104	211	251	387	585	636	542	849	444	503	797	700	505	453

コメント：(改行：ALT+ENTER)

Bサイトは普段から人が入り、Aサイトと比べ地面が踏み固められ、下草が少ない場所であったが、昨年ナラ枯れの影響を受けていた樹木が伐採された。その影響は今年の調査結果にも影響している可能性があるし、今後のセミの産卵、伐採された樹木の根で暮らしていた幼虫にも影響して、今後のセミの羽化に影響が出る可能性が否定できない。伐採された場所では下草が伸びている場所も散見された。もともと対照的な環境であるAサイトに比べ、ミンミンゼミの抜け殻が少ない傾向ありがあり、今年もミンミンゼミは少なかった。ヒグラシは2018年以降、常にAサイトよりもBサイトで多くの抜け殻が採取されている。ヒグラシは土のやわらかい場所に多いといわれることがあるが、ここでは逆転しているのが興味深い。A/B両サイト共にヒグラシが減少しているのが気がかりである。